爽風－3

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、
社会の創り手を目指す
児童の育成
【キーワード】「ありがとう」
挨拶・整理・笑顔・読書・掃除・感謝

【かづさの教え】
かしこく つよく さわやかに
南島原市立加津佐小学校
学校だよりNo28
令和3年10月28日
文責　校長　藤田哲夫

プログラミング学習（ドローン）

〇ミナサポから講師を招いて、6年生のプログラミング学習を行いました。昨年度、ミナサポから寄贈していただいたドローンを活用し、南島原市より貸与されているタブレットを使った学習です。昨年度は、ミナサポで準備してもらったIパッドを使った学習だったので、学校独自で活用できなかったため、単発的な学習になってしまいました。そこで、タブレットを使って学習できないかと相談したところ、USBにソフトを入れ、それを活用することでできるようにしてもらったのです。（教育委員会にも許可をとってくださいました。）
〇そこで、まず、加津佐小学校の職員研修で、ドローンとタブレットとUSBを使ったプログラミング学習を行いました。そうすることで、今後、毎回ミナサポから講師に来ていただかなくても、校内で授業を進めることができると考えたからです。（持続可能なプログラミング学習にするためです。）
〇先生方も興味津々で楽しみながら、研修を受けていました。校長も一緒に受けましたが、やり方が分かれば、十分に校内だけでもできる内容でした。また、その研修で分かった「小型バッテリーの使用時間が短い」という問題を解消するため、学校で同じものを追加購入し、2時間続きの授業でも対応できるようにしました。
〇そして、いよいよ本番です。事前に使い方の説明は、担任が行っていたので、すぐに実践に移ることができました。段階的なミッションが用意されており、児童は、スクラッチというソフトでプログラミングしながら、ドローンを目的どおりに離陸・移動・着陸させることに挑戦しました。移動距離や方向・角度を変えていきながら、何度も挑戦します。試行錯誤です。児童は、グループで相談しながら、考え、何度もやり直します。そして、うまくいった時には、自然と歓声があがりました。児童は、楽しみながら新しい学びを身につけています。

普賢岳親子登山（PTA行事）

〇10／16（土）に、6年生の学年行事「普賢岳親子登山」が行われました。校長も案内を受けたので、一緒に登りましたが、とても気持ちのいい登山でした。
〇6年生の保護者の登山班による企画・運営で、保護者もたくさん参加されていて、ありがたいと思いました。事前にプレ登山をおこなって、ルートの確認や事前の準備をされたと聞きました。ありがとうございます。
〇登山をしながら、あらためて思ったことは、卒業式のことでした。卒業式を、小学校という山の頂上と考えると、そこにたどりつくまでには、いろいろな道があります。平坦な時もありますが、険しい道の時もあります。下り坂の時もあれば、上り坂の時もあります。楽な時もあれば、きつい時もあります。時々休憩をとりながら、水分補給や栄養補給をしながら、みんなで登ります。途中、弱音を吐くことがあったり、やめたくなったりすることもあります。でも、お互い声をかけあい、励ましあうことで、元気を取り戻し、みんなで卒業式という頂上を目指します。
〇今回の登山でも、仲間のお蔭で、最後まで登り切る事ができたという話も聞きました。一人で登っていたら、途中でリタイヤしたかもしれません。今回の経験が、改めて、6年生の絆を深め、結束を固めたのではないかと思います。登山を終えた6年生は、皆、とてもいい顔をしていました。保護者の皆様、本当にありがとうございました。次は、修学旅行。また、成長が楽しみです。